

現地研修『原発事故と住民の健康対策』のご案内

2011年3月11日以降、見通しのない原発事故対策と長引く避難生活、職場や家を失い、家族もバラバラな生活を余儀なくされる中で、福島県の被災地自治体の保健師達は仮設の役場で3年目の夏を迎えています。今多くの保健師達は日常の保健活動に追われ、原発事故と放射能汚染への関心が薄れつつありますが、全国保健師活動研究会では、福島に出かけ自分の目で実態を掴む現地研修を、浪江町役場の協力を得て次の通り計画しました。原発から30km圏内の自治体の保健師の方をはじめ、原発事故と放射能汚染の深刻さを沢山の保健師の方に学んでほしいと思います。ぜひ参加ください!

日時：2013年7月26日(金)～27日(土)

研修日程：

7月26日(金)

12時：JR福島駅西口広場集合

12時15分～13時15分 マイクロバスで会場の「浪江町役場二本松事務所」に移動

*車で参加の方は、直接会場まで。住所：福島県二本松市北トロミ573 電話0243-62-0123

13時30分～15時

研修Ⅰ：『原発事故と浪江町における住民の健康対策』

～原発事故からの避難と健康問題、浪江町の健康対策と被爆健康手帳の活用～

講師：浪江町健康保険課長 紺野則夫氏、浪江町保健師

15時～15時20分 マイクロバスで津島診療所(仮設)に移動

15時30分～16時30分

研修Ⅱ：『住民の放射線被曝の実態と内部被曝への対応』

～ホールボディカウンターによる健診の見学など～

講師：津島診療所長関根俊二医師

17時～18時 マイロバスでJR福島駅東口徒歩5分の「アクティブシニアセンターアオウゼ」に移動

18時30分～20時30分

夕食交流会「原発事故と保健師が体験したこと…福島の保健師と交流」

会場：アクティブシニアセンターアオウゼ4階視聴覚室 電話：024-533-2344

*福島駅東口から線路沿いに飯坂方向に歩きホテル東横インの道を隔てた左の建物

7月27日(土)

8時30分：JR福島駅(東北新幹線)西口広場集合

・放射線測定器でセシウムの空間線量を測定しながら南相馬市の海岸部迄行き15時に福島駅に戻る。

コース：福島駅西口→渡利地区(福島市で高い地区)→川俣町→飯舘村役場→南相馬市原町区→萱浜(津波被災地区)→国道6号線、小高地区の原発から20km境界地点→相馬市→伊達市霊山町→小国・大波地区→福島駅西口

(*途中コースの変更あり、南相馬市で保健師との交流を行い昼食を摂る。「相馬野馬追い」のお祭り
と重なり道路事情が?)

15時：JR福島駅東口広場解散

宿泊：福島リッチホテル 電話：024-521-1711 福島駅東口左手徒歩3分 素泊まり1泊5,500円

*20人分の予約をとっていますので宿泊希望者は23日までに参加申込ください

参加費：1万円(マイクロバス代、交流会々場費、浪江町への謝礼、26日の夕食代)

申込み：メール、FAX又は郵送にて下記の内容をお送りください

メール：phntudoi@yahoo.co.jp

FAX：03-3386-8837

〒165-0022東京都中野区野方1-45-2 菊地方研究会事務局

菊地携帯080-2152-5775

-----現地研修申込み-----

氏名：

携帯電話番号：

自宅住所：

宿泊：希望／希望しない

研究会：会員／非会員

連絡事項：